

## 犬・猫の 耳ダニ対策

### 耳ダニ感染症(耳疥癬、ミミヒゼンダニ感染症)

#### 【症状】耳を痒がる。多量の黒色耳垢。

犬猫ともに感染し、耳道の症状は通常両側の場合がほとんど。耳垢が存在しても症状を示さない個体もいれば、少量の耳垢で激しい痒みを示す場合もあります。また耳垢はほとん

どないが、ダニの寄生がみられる場合もあります。外耳炎の原因となります。



〈黒色耳垢〉

#### 【原因】ミミヒゼンダニ(耳ダニ)の感染が原因。

ミミヒゼンダニは耳の中に寄生すると、耳の分泌物や皮質などを食べて生活し、活発に繁殖して、たくさんの卵を産卵します。卵は耳の中だけでなく、生活環境のあちこちにまき散らされていきます。そのため、母猫や母犬が耳ダニに感染していると環境から子犬、子猫に感染します。耳ダニの卵から成虫までの生育期間は約 3 週間で、成ダニの生存期間はおよそ 2 カ月です。

#### 【診断】耳鏡による直接観察または、顕微鏡による耳垢検査で耳ダニを直接確認。

耳鏡による直接観察では耳道内に白色の動いている、体長約 0.3~0.4mm のダニ虫体を確認できます。

#### 【治療】ミミヒゼンダニの駆虫と耳道内の洗浄。

##### ① 点耳薬による局所治療

耳の中を洗浄して、耳垢を除去した後にアイボメックなど、殺ダニ剤が含まれる製剤を週に2回、2~3週間の点耳も有効。

##### ② 経口、注射、スポットオン製剤などによる全身治療

レボリューションの皮下への滴下。

虫卵には薬が作用しにくいので、30日ごとに1~2回投与を推奨。感染動物と接触のあった動物全てを治療する必要があります。



レボリューション(スポットオン製剤)

**\*①、②どちらの薬品も獣医師の診察・処方箋が必要です。**

**\*要指示薬の為、処方には獣医師の診察が必要です。**

#### 【予防】耳ダニ感染動物との接触を防ぐ。

感染動物の生活環境には卵や幼虫などが多数残されているので、感染動物の治療と同時に、室内の掃除、マットや毛布などの洗濯や煮沸消毒などを丹念に行うこと。多頭飼いで同居の猫や犬がいる場合、並行して同居動物の治療を一斉に行うことが大切です。一斉に耳ダニを除去することで、他の動物への再感染を防ぐことができます。

☎03-5646-6894 FAX 03-5646-5822

URL <http://www.ahb.jpn.com>

<http://www.bioplus.jp>

# AHB

〒135-0042 東京都江東区木場3-7-11  
株式会社 AHB

\* 具体的にお困りの方は獣医師までご遠慮なくご相談ください。